

2027 年度

東京大学大学院工学系研究科

化学システム工学専攻

大学院入試案内書

修士課程

博士課程

【問い合わせ先】

化学システム工学専攻 常務委員
教授 小倉 賢

E-mail : admission@chemsys.t.u-tokyo.ac.jp

- **化学システム工学専攻の教育研究上の目的**

本専攻においては、分子から地球に至る各スケールでの化学現象の解析・制御と、それら構成要素のシステム化・設計に重点を置く、化学システム工学の方法論を身につけた国際的に活躍できる／世界へ飛躍する化学技術者・研究者を育成する。同時に、この方法論を用いて、環境、エネルギー、安全・安心、医療などの課題解決に向けた研究を推進し、持続可能な環境調和型社会構築に貢献する。以上を本専攻の教育研究上の目的とする。

- **化学システム工学専攻ホームページ**

<https://www.chemsys.t.u-tokyo.ac.jp/>

- **入試情報（過去の専門科目問題等）**

<https://www.chemsys.t.u-tokyo.ac.jp/curriculum/graduate/admission/>

- **入試説明会日程**

入試説明会の詳細は上記専攻ホームページ大学院入試情報でお知らせします。

出願のためには、工学系研究科募集要項に掲載される入学願書作成入力フォームにより手続きが必要です。

注意: 専攻 Web サイトに掲載される最新の案内書を必ず確認すること。

2027 年度 東京大学大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 入学試験受験者心得

工学系研究科募集要項および化学システム工学専攻入試案内書の内容に変更がある場合には、下記 Web サイトで公表しますので、随時確認してください。

工学系研究科 Web サイト：

<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/study-at-utokyo/soe/apply>

化学システム工学専攻 Web サイト：

<https://www.chemsys.t.u-tokyo.ac.jp/curriculum/graduate/admission/>

1. 出願受付期間、試験期日等（工学系研究科募集要項を参照のこと）

修士課程（4 月入学希望者および 10 月入学希望者、外国人特別選考を含む）

出願受付期間 ¹⁾	2026 年 5 月 29 日～6 月 4 日
外国語（英語）	TOEFL または TOEIC L&R スコアの提出 ²⁾
試験期日 ³⁾	2026 年 8 月 31 日～9 月 1 日 ⁴⁾
合格者発表 ⁵⁾	2026 年 9 月 10 日

博士課程

		出願日程 A		出願日程 B
		2027 年 4 月入学	2026 年 10 月入学	2027 年 4 月入学
出願受付期間 ¹⁾		2026 年 5 月 29 日～6 月 4 日		2026 年 11 月 27 日～ 12 月 3 日
外国語（英語）		TOEFL または TOEIC L&R スコアの提出 ²⁾		
試験 期日	第 1 次	2026 年 8 月 31 日～9 月 2 日 ⁴⁾		2027 年 2 月 4 日 ⁴⁾
	第 2 次	2027 年 2 月 4 日 ⁶⁾	第 1 次と同時期に 実施	第 1 次と同時期に 実施
合格者発表 ⁵⁾		2027 年 2 月 12 日 (第 1 次: 2026 年 9 月 10 日)	2026 年 9 月 10 日	2027 年 2 月 12 日

- 1) 入学願書等は Web 出願システムで作成し、必要書類一式をオンラインアップロードすること。
- 2) 公式スコア提出の詳細に関しては 7 ページを参照のこと。
- 3) 試験期日に先立って、願書に同封の書類を基に書類審査を実施する。可否は 7 月初旬の受験票交付時に電子メール宛てに通知する。
- 4) 10 ページに記載の「試験日程」を参照すること。
- 5) 合格者の受験番号を工学系研究科の Web サイトに掲示する。
- 6) 詳細は追って通知する。なお、修士の学位又は専門職学位を出願時に既に取得済み又は 2026 年 9 月 30 日までに取得する見込みの者は、第 1 次と同時期に実施する。

2. 実施方法等

試験会場（東京大学本郷キャンパス）で実施する。試験場はこの案内書に記載の「試験場案内」（11ページ）を参照すること。

- (1) 各自が受験すべき科目の試験室については、受験票送付時に通知する。
- (2) 受験者は、筆記、口述ともに試験開始30分前までに所定の試験室または控え室に入室すること。定刻に遅れた場合は各試験監督者に申し出ること。
- (3) 筆記試験の遅刻限度は30分とする。口述試験では、開始時刻に遅刻したものは受験を許可しない。

3. 携行品

- (1) 必ず携行するもの：受験票、黒色鉛筆（又はシャープペンシル）、消しゴム
- (2) 携行してもよいもの：指数・対数計算ができる電卓（携帯電話やスマートフォンを電卓として使用することは認めない）、鉛筆削り（卓上式は不可）、時計（計時機能だけのもの）
- (3) 携帯電話・スマートフォン等は試験室入室前に電源を切って、カバン等に入れ、身につけないこと。これを時計あるいは電卓として使用することは認めない。
- (4) その他、博士課程入学志願者には個別に指示がある場合がある。

4. 試験時の留意事項

- (1) 試験開始後は、解答が終わった場合でも、また受験を放棄する場合でも退室を認めない。
- (2) 試験時間中、受験票を常に机上に置くこと。
- (3) 解答用紙および問題冊子は持ち帰ってはならない。

5. その他

- (1) 出願以後に、電子メールアドレス、現住所に変更が生じた場合には、速やかに専攻常務委員へ届け出ること。
- (2) 合格者は、工学系研究科のWebサイトに受験番号を掲示することで発表する。電子メールや電話等による合否の照会には応じない。
- (3) 合格者に対する研究室配属は、合格発表以降、工学部5号館化学システム工学専攻掲示板および専攻Webサイト内入試情報に掲示する。また、電子メールにて連絡する。電話による照会には応じない。
- (4) 合格者は、配属予定研究室の指導教員に必ず連絡すること。

東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻

修士課程 入学志願者案内

1. 入学志願者は、大学院修士課程入学資格を有する者であれば、その卒業学科および資格取得年次を問わない。
2. 志願者は研究室一覧に記載の研究室から志望研究室を選択する。
3. 志願者は、専攻Webサイト内大学院入試情報からダウンロードした「志望動機およびキャリアプラン」を記入し、願書とともに提出すること。**第1志望の研究室に予め連絡をとり、指導教員の説明と承諾を受けておくこと。**研究室の志望は合否の判定に関係しない。合格者の配属研究室は、合格発表後に通知する。
4. 願書に同封の書類を基に、基礎学力および化学システム工学専攻への適合性を総合的に判断する書類審査を実施する。書類審査の合否は、7月初旬の受験票交付時に願書に記載された電子メール宛に通知する。
5. 外国の大学を卒業または卒業見込みの外国人受験者は、外国人特別選考を受験することができる。ただし、志望教員と予め連絡をとり、特別選考受験の許可を得ておくこと。外国人特別選考の試験科目は一般選考と同じである。外国人特別選考の合格者は志望教員の研究室に配属される。
6. 書類審査で合格となった者のみが、以下の試験科目を受験できる。下記科目A~Cをすべて受験しないと不合格となるので注意すること。
7. 入学試験の合否は、下記科目A~Cの結果を総合的に考慮して判断する。

A. 外国語（英語）：配点 120点満点

各自でTOEFL iBT/TOEFL iBT Home EditionあるいはTOEIC Listening & Readingを受験する。前記以外の試験を外国語（英語）試験にかえることはできない。公式スコアの提出に関しての詳細は、7ページの【外国語（英語）公式スコアを提出する際の注意事項】および工学系研究科の募集要項とともにお知らせする「令和9(2027)年度東京大学大学院工学系研究科入試TOEFLスコア提出要項」を必ず参照すること。

B. 筆記試験：配点 450点満点

試験科目	備考
専門科目 <ul style="list-style-type: none"> • 物理化学（2問） （熱力学、化学反応論、量子化学など） • 無機化学（1問） • 化学工学（2問） （移動速度論、反応工学、単位操作、プロセスシステム工学など） 	<p>左記5問より3問を選択して解答する。</p> <p>下記の注意事項を参照すること</p>

注意事項

英語表記の問題冊子を希望する場合は、web出願システムの指定欄に○を記入すること。

C. 口述試験

志望動機およびキャリアプラン、修士課程で行いたい研究、また化学システム工学に関連する基礎学力を問う。1人当たり10分程度の総合的な質疑を行う。詳細は受験票交付時に連絡する。

東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻

博士課程 入学志願者案内

1. 入学志願者は、大学院博士課程入学資格を有する者であれば、その専攻および資格取得年次を問わない。
2. 入学志願者は、希望する研究室に予め連絡をとり、指導教員の説明と承諾を受けておくこと。
3. 志願者は、志望する研究室名を専攻Webサイト内大学院入試情報からダウンロードした「調査票」に記入し、願書とともに提出すること。
4. 試験科目は下記の通り。本学の大学院修士課程修了者または修了見込みの者については、第1次試験は口述試験のみとする。
5. 合否は、下記科目A~Cの結果を総合的に考慮して判断する。

I. 第1次試験

A. 外国語（英語）：配点 120点満点

各自でTOEFL iBT/TOEFL iBT Home EditionあるいはTOEIC Listening & Readingを受験する。前記以外の試験を外国語（英語）試験にかえることはできない。公式スコアの提出に関する詳細は、7ページの【外国語（英語）公式スコアを提出する際の注意事項】および工学系研究科の募集要項とともにお知らせする「令和9(2027)年度東京大学大学院工学系研究科入試TOEFLスコア提出要項」を必ず参照すること。

B. 筆記試験：配点 450点満点

試験科目	備考
専門学術 • 化学システム工学に関連する基礎科目 （修士課程入学試験の専門科目から2問以内。解答する問題数と科目は希望する指導教員の指示に従うこと） • 各自の専門分野に関する記述問題	下記の注意事項を参照すること

C. 口述試験

これまでの研究成果および今後の研究計画について10分程度にまとめて発表し、10分程度の質疑応答および総合的な試問を行う。詳細は受験票交付時に連絡する。

II. 第2次試験

第1次試験合格者に対して、修士論文に関する審査を行う。詳細は追って通知する。

外国語（英語）公式スコアを提出する際の注意事項

TOEFLまたはTOEIC Listening & Readingの公式スコアを提出すること。どちらのスコアを提出するかは出願時に選択することとし、出願期間後にその選択の変更は認めない。いずれのスコアも、試験日が2024年9月以降【修士，博士出願日程A】あるいは2025年2月以降【博士出願日程B】のものを有効とする。スコアの開示が遅れる場合もあるため、十分な日程の余裕をもって受験すること。

TOEFL公式スコアの提出に関して

詳細は、工学系研究科の募集要項とともに通知する「令和9(2027)年度東京大学大学院工学系研究科入試TOEFLスコア提出要項」を必ず参照すること。

<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/study-at-utokyo/soe/apply/guideline>

化学システム工学専攻におけるスコアレポートの提出期限（日本時間）を以下に示す。

	スコアレポートの提出期限
修士課程	2026年8月5日（水）
博士課程（出願日程A）	2026年8月5日（水）
博士課程（出願日程B）	2027年1月8日（金）

TOEFLの受験を申し込む際に、以下の送付先へ公式スコアレポートの送付を請求すること。既に受験済みのスコアを提出する場合も、以下の送付先へ公式スコアレポートの送付を請求すること。

DI(Designated Institution) code:	8596
Department code:	99

TOEIC公式スコアの提出に関して

TOEIC Listening & Reading のデジタル公式認定書、または紙の公式認定書をスキャンしたものを web 出願システムにアップロードすること。デジタル公式認定書の場合、デジタル公式認定証の URL を web 出願システムに登録すること。紙の公式認定書の場合、化学・生命系事務室へ原本を郵送すること。

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院工学系研究科化学・生命系事務室

外国語試験（英語）スコアの換算方法

下表に従い、外国語試験（英語）の得点率（%）を計算する。間の点数はそれぞれの区間で線形に補完する。範囲外は端点に置き換える。

TOEFL	TOEIC L&R	外国語試験（英語）の得点率（%）
0	10	0
48	650	45
95	990	90
105	-	100

研究室一覧表




【募集人員】

修士：28名

修士の研究室定員は、研究室あたり1～5名を目安とする。

博士：13名

研究室名	指導教員	QRコード
山田・北田研究室	教授 山田 淳夫 准教授 北田 敦 講師 KO Seongjae	
酒井・西川研究室	教授 酒井 康行 准教授 西川 昌輝	
高鍋・小畑・岸本研究室	教授 高鍋 和広 准教授 片山 正士 (環境安全研究センター) 講師 小畑 圭亮 講師 岸本 史直	
中山研究室	教授 中山 哲	
杉山・Badr研究室	教授 杉山 弘和 准教授 BADR Sara	
Tung研究室	教授 TUNG Vincent	
伊藤・稲垣研究室	教授 伊藤 大知 准教授 稲垣 奈都子	
工学系研究科総合研究機構 脇原研究室	教授 脇原 徹	
工学系研究科総合研究機構 太田研究室	准教授 太田 誠一	
工学系研究科総合研究機構 村岡研究室	准教授 村岡 恒輝	

工学系・情報理工学系等 環境安全管理室 茂木研究室	教 授 茂木 俊夫	
生産技術研究所 ¹⁾ 小倉研究室	教 授 小倉 賢	
生産技術研究所 ¹⁾ 杉原研究室	准教授 杉原 加織	
環境安全研究センター 辻研究室	教 授 辻 佳子	
未来ビジョン研究センター 菊池研究室	教 授 菊池 康紀	
総合文化研究科 国際環境学教育機構 ²⁾ 菅蔗研究室	教 授 菅蔗 寂樹	

【研究室の所在地】

研究室一覧表中で 1), 2) を付した研究室以外は、すべて本郷キャンパス
本郷キャンパス 〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

- 1) 生産技術研究所 〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1
2) 総合文化研究科国際環境学教育機構 〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1

【問い合わせ先】

本案内書について不明な点がある場合には、下記に問い合わせること。

教授 小倉 賢
化学システム工学専攻 常務委員
Phone: 03-5452-6321
e-mail: admission@chemsys.t.u-tokyo.ac.jp

化学システム工学専攻 試験日程

課 程	試験科目		日 時	備 考
修士課程	外国語（英語）		8月5日（水） までに外国語 （英語）公式 スコア提出	• 7ページを参照
	筆記試験 （専門科目）		8月31日（月） 13:00～15:30 （JST）	
	口述試験		9月1日（火） 9:00～（JST）	• 詳細は受験票交付時に連絡する
博士課程 （出願日程A）	第1次 試験 ※1	外国語（英語）	8月5日（水） までに外国語 （英語）公式 スコア提出	• 7ページを参照
		筆記試験 （専門学術）	8月31日（月） 13:00～15:30 （JST）	• 希望する指導教員の指示に従うこと
		口述試験	9月2日（水） 9:00～（JST）	• 詳細は受験票交付時に連絡する
	第2次試験		2027年 2月4日（木）	• 2026年10月入学希望者は第1次試験と同時期に実施
博士課程 （出願日程B）	第1次 試験 ※1	外国語（英語）	1月8日（金） までに外国語 （英語）公式 スコア提出	• 7ページを参照
		筆記試験 （専門学術）	2027年 2月4日（木）	• 詳細は受験票交付時に連絡する
		口述試験	2027年 2月4日（木）	• 詳細は受験票交付時に連絡する
	第2次試験		第1次試験と同 時期に実施	

※1 本学の大学院修士課程修了者または修了見込みの者については口述試験のみとする。

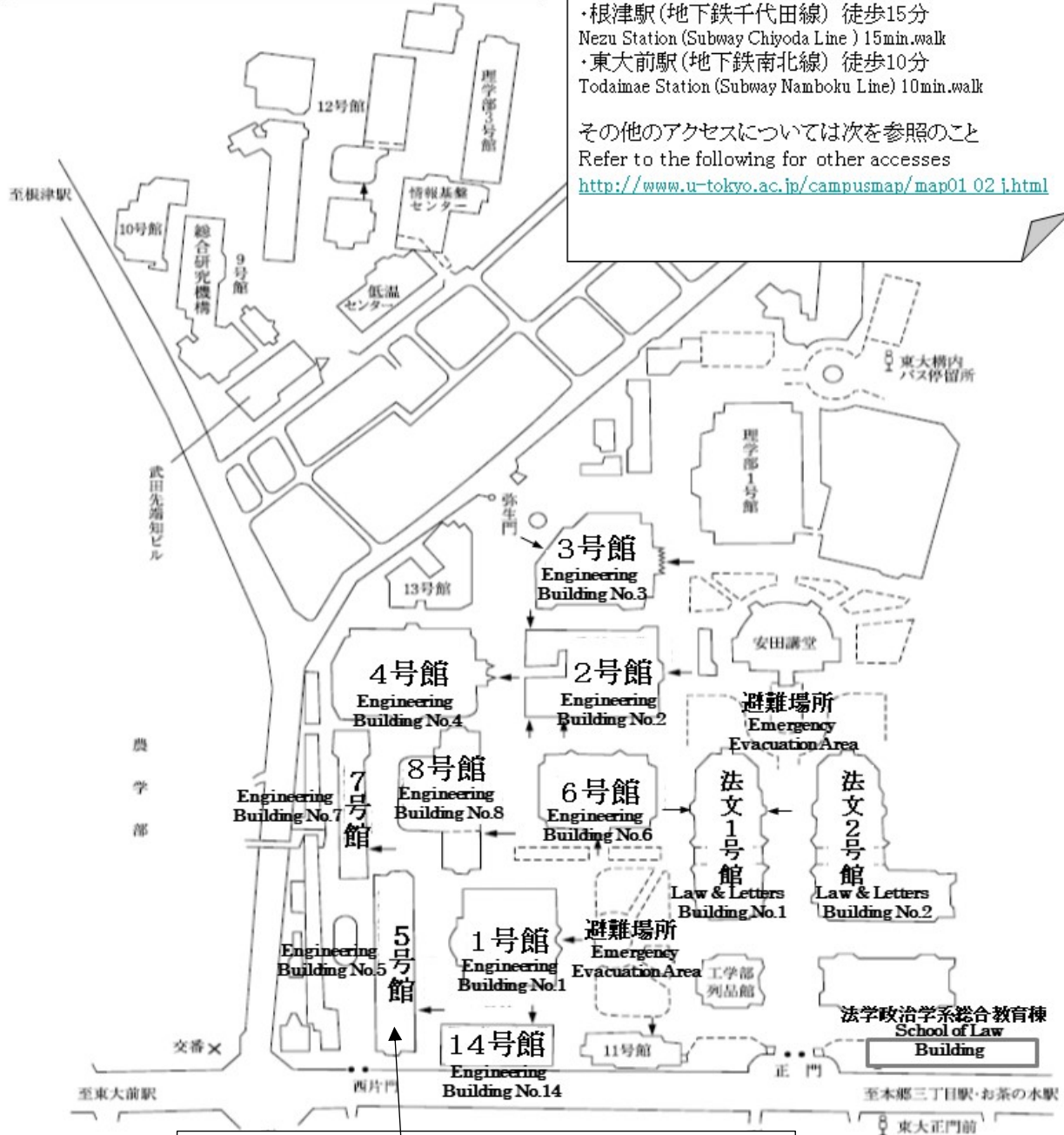
試験場案内(東京大学本郷キャンパス)
Campus Map for the Examination
(Hongo campus, the University of Tokyo)

地下鉄利用 Subway

- ・本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線) 徒歩20分
Hongo-sanchome Station (Subway Marunouchi Line) 20min.walk
- ・本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩20分
Hongo-sanchome Station (Subway Oedo Line) 20min.walk
- ・根津駅(地下鉄千代田線) 徒歩15分
Nezu Station (Subway Chiyoda Line) 15min.walk
- ・東大前駅(地下鉄南北線) 徒歩10分
Todaimae Station (Subway Namboku Line) 10min.walk

その他のアクセスについては次を参照のこと
Refer to the following for other accesses

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_i.html



工学部 5号館
化学システム工学専攻掲示板
Engineering Building No.5
Bulletin board for Department of Chemical System Engineering